

令和5年度 春期 ITストラテジスト試験 出題趣旨

午後Ⅱ試験

問1

出題趣旨

昨今のITシステムは、ビジネスの変化の速さを背景に、構築後もITシステムに対する様々な改修要望が挙がってくる。そのような改修要望は、利用部門の視点だけで検討した部分的な内容にとどまっている可能性がある。経営に貢献し続けるITシステムを実現するためには、全社視点での多面的な分析を行い、問題の真因を特定することが重要である。

本問は、ITシステムの改修要望に対して、どのように分析を行い、問題の真因を特定したか、立案した対応方針とともに、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、ITストラテジストに必要な業務・システムの分析力、問題解決力などを評価する。

問2

出題趣旨

顧客の生活や企業の事業活動の基盤として利用され、継続して安定したサービスの提供を求められるシステムの個別システム化計画では、システムリスク対応方針の立案が重要である。

本問は、個別システム化計画において、対象システムに想定されるインシデント、そのインシデントが社会や自社の経営に与えるインパクト、及びそのインパクトに応じて立案する、予防策と発生時対策から成るシステムリスク対応方針について、具体的な論述を求めている。論述を通じて、ITストラテジストに必要な、システムリスク対応方針の立案における構想力、分析力、洞察力などを評価する。

問3

出題趣旨

近年の社会環境の急変といった環境下で競合他社に勝ち抜くために、組込みシステムのITストラテジストには、変動する市場のニーズに適合し、さらに社会への新たな価値を提供する革新的な製品を投入する製品戦略を立案する能力が求められている。

本問は、急変する市場に対応する製品戦略を題材として、市場調査・情報収集、製品化の立案と課題解決内容、プレゼンテーションの内容についてプロダクトイノベーションの手法の視点で具体的に論述することを求めている。論述を通じて、組込みシステムのITストラテジストに必要な分析力、提案力、マネジメント力などを評価する。